

烏帽子の会による冬の福地山（1,672m）登山

2017年2月4日

烏帽子の会1月登山例会は、昨年10月に登った奥飛騨福地山の雪景色を探索しようと言う試みで、2月4日に催された。風邪気味でお休みの人が出て参加人数はやや少なめ8人で午前7:00に松川道の駅に集合、A.K号・Y.M号の2台に分乗し、いざ福地温泉へ。アイゼンやスノーシューをつけて9:15登山出発、雪は想像していたより積雪が残っていたが、登山道は登った足跡があり、ツボ足でも登れる状態であった。途中動物の足跡を散策し、飛騨地方の社会教育に貢献した篠原慥然像が雪にすっかり覆われた姿を見て、また第1・第2・第3・乗鞍・第4の各展望台よりの景色を楽しんで、13:00頂上着。



雪山を軽快に登る一行



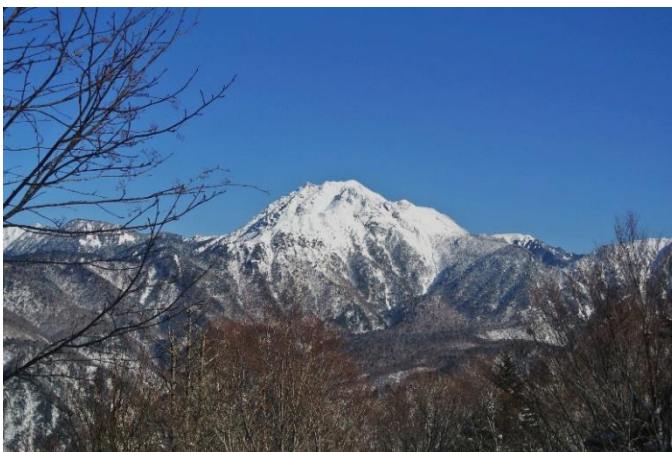
10月の慥然像と雪に覆われた慥然像
当日は頭まで雪に覆われていたので
写真はネットより引用



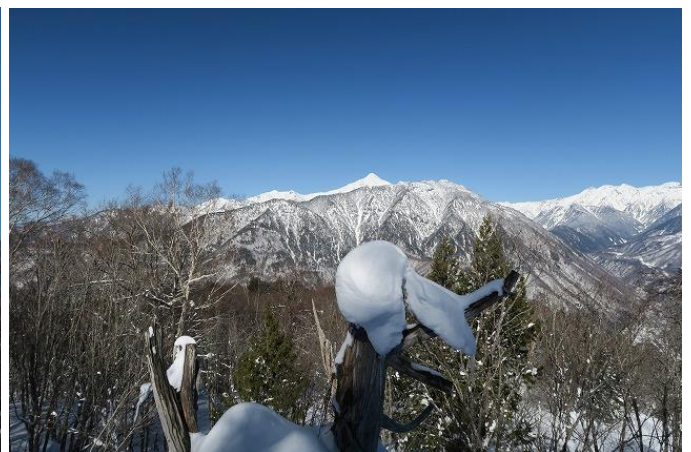
さて何の動物の足跡でしょうか



頂上で壮大な北アルプスの
雪姿を背にしてご機嫌
な皆さんの集合写真



勇壮なる穂高連峰の雪姿



雪帽をかぶった樹木の向こうの笠ヶ岳



登山中に会った氷柱の芸術



A.K さんのパノラマ写真に Y.M さんが山の名前と標高を同定

頂上付近はほぼ 1m の積雪。 14:00 に頂上から下山開始、アイゼン・スノーシュー・ツボ足とそれぞれ思い思いの装備で下山。 朝のうちはサラサラだった雪も、日が照り暖かくなり重くなって歩きにくくなったが、雪景色に満足し皆さん心地良く下山。 当初予定の平湯温泉は終了時間間近で入浴が叶わず、近くの平湯の森温泉へ向かう。 ここでゆっくり雪山歩きの疲れを癒し、17:30 に帰路へ向かう。 1日雪景色を堪能した喜びを胸に抱きながら 19:00 前に松川道の駅で別れ、それぞれ家路についた。 素晴らしい雪山山行を案内頂いたKさんご夫妻有難うございました。途中、山の名前を詳細にお教えいただいた Y.M さん有難うございました。

「壮大な 北アルプスの 雪姿 間近に迫る 福地山頂」